

第3回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議次第

日 時：平成27年10月16日（金）10：00～

場 所：南幌町役場 3階大会議室

1 開 会

2 報 告

1) 第2回会議概要

3 議 題

1) 3次選定における評価項目（案）について

2) その他

4 閉 会

第3回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 会議概要

日 時	平成27年10月16日(金) 10時00分～11時10分
場 所	南幌町役場 3階大会議室
出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
会議要旨	<p>1 報告1)「第2回会議概要」について説明を行い、報告済としました。</p> <p>2 議題1)「3次選定における評価項目(案)について」 資料により3次選定項目案について事務局から説明を行い、質疑・意見交換を行った後、説明済としました。</p> <p>3 議題2)「その他」 第4回会議については11月18日(水)10時から由仁町で、第5回会議については11月27日(金)13時から長沼町で開催する旨了承を得ました。</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 報告 1) 第2回会議概要 事務局から、第2回会議次第・概要について説明。</p>
委員長	<p>事務局から説明のとおり、前回の会議概要については皆様にご確認いただいた後、ホームページに掲載するという手順になっております。会議概要は事前にお送りしておりますのでご覧いただいたと思いますが、修正等ありましたらお願いします。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>それでは、会議概要をご確認いただいたということで、報告済とさせていただきます。議題に入ります。議題の1は「3次選定の評価項目(案)について」、事務局から説明願います。</p>
	<p>3 議題 1)「3次選定における評価項目(案)について」 事務局から、資料「3次選定項目案」により説明。</p>
A委員	<p>今回のような公共の大きな建物を建てる土地を選ぶにあたり、もちろん「7. 経済性」というのは絶対条件だと思うが、同じくらい大事なのが、「3. 防災面」だと思う。</p> <p>評価項目案No. 11で河川からの距離について触れているが、距離だけでなく標高も考慮すべきではないか。造成、盛り土ということになれば、それは大変な面積だしお金のかかることだから、小高い所がもしこの候補地の中にあれば、それは点数面で考慮すべきでないかと思う。</p> <p>次にNo. 6に強固な地盤ということが書かれているが、液状化のことには何も触れていない。私は釧路出身だが、地震で驚くほど液状化する所とそうでない所が線を引いたように分かれ、大きな建物も傾いて、住宅が斜面から滑り落ちるような、そういうものを目の当たりにしてきた。今回の候補地の中にはそんな所が無いのかどうか、ということも知りたいし、まず、災害に強い土地を大事な項目にして、今回の項目案を見ると全て同じ配点になっているが、防災面の点数は大きくすべきではないか。</p> <p>もうひとつ、「6. 合意形成」で地権者数のことが書かれているが、数はともかく1人でも「売らない」、という人がいたらなかなか難しい話になると思う。「6. 合意形成」については1項目しかないが、それであれば点数を高くすべきではないかなと思う。</p>

委員長	今いくつかご質問等出ましたけれども、事務局のお考えをお願いします。
事務局	<p>まず、評価基準と点数ですが、あくまでも3段階で評価すると想定した参考ですので、決定ではありません。今後配点の割合は検討していくことが大事と考えております。</p> <p>また平坦な土地ということですが、組合では防衛省の補助を予定していますが、そちらの項目の中で平坦な土地が望ましいということがあり、それに沿っていく方向になるかと思えます。</p> <p>配点の割合等も現在はまだ検討中として、今後皆さんのご意見を伺って、評価項目案を作成していきたいと考えております。</p>
B委員	<p>今防衛省の補助という話を聞いたが、この評価項目は、基本的には防衛省の予算か何かを参考にしているということなのか。それとも何か、マニュアルのようなものを用いているのか。</p> <p>また、やはり点数は再検討すべきだと思う。</p>
事務局	<p>評価項目につきましては、他の組合の用地選定のものを参考にしています。防衛省の補助の関係とは一切関係ございません。</p> <p>点数のご意見についても、今後の検討の中で考えます。</p>
C委員	資料を見ると34番のメッシュ中に赤く塗りつぶした所があり、ここに決まったのかなと思ってしまったが。
事務局	こちらの方は、あくまでも流れを説明するためのイメージです。
D委員	<p>先程のB委員の意見と関連するが、評価基準と配点についてはこれからまた検討されるとのことだが、評価基準の中で相対的な評価と、実数を使った評価に基準が分かれている。その中で、配点については5、3、1という単純な配分となっているので、これについてはもう少し検討していただきたいな、と思う。</p>
事務局	わかりました。
E委員	No. 17 観光地の項目で、「観光地からの距離が長いことが望ましい。」とあるが、この観光地は現状の観光地だけなのか。10年後であれば将来の商業施設、或いは道路整備等開発の構想が見えていると思うので、その辺の将来構想を勘案しているのかどうかをお伺いしたい。
事務局	評価としては現時点ですが、できるということがわかっているのであれば、それは観光地の範囲に入れるのが良いのではないかと考えております。
委員長	<p>観光地の項目案に温泉、道の駅というものが挙がっていますが、場所によってはグリーンツーリズムとか、或いはシーニックバイウェイ、いろいろな構想が練られて街おこし等も考えられているので、この温泉、道の駅だけではないのかな、という気がします。そういう意味ではE委員が仰っていたような将来構想ということもありますが、もうちょっと、各市町村で取り組まれているものを見ておいた方が良いのかなと思えます。遺跡に関しては埋蔵文化財の項目があったので、それはいいかなと思いましたが。</p>
C委員	河川関係で水害を想定した項目があるが、火山災害について、過去の樽前山の火山灰の影響等も、調べておいた方が良くと思う。

事務局	それにつきましても検討させていただきます。
委員長	質問ですが、No. 1水源、放流先の状況の考え方として、「放流先の状況が良いことが望ましい」とありますが、「良いこと」とはどういうことを具体的に想定していますか。
事務局	下水道設備が候補地の所により近いというのが、状況が良いということと考えています。基準につきましては今後検討します。
委員長	そうすると、これは下水道設備があるかないか、という意味になるのですか。それであれば、もう少し具体的に書いた方が良いと思います。抽象的で、評価の考え方がわからないと思います。
事務局	わかりました。
委員長	No. 15 同一路線の車両集中ですけれども、運搬車が出入りする道路は複数の路線が望ましいということですが、運搬車の頻度、大きさや、周辺道路の状況というものもここに入ってくると思います。車の進行方向だけでなく、道路自体が広いのか狭いのかとか、周りだけ広くてもそこに至るまでに渋滞の名所があっても困るだろうし、そういうニュアンスというのも考慮した方が良いのかなと思います。
D委員	No. 3 希少動植物について、生態系調査の予定があるのか無いのか。 また、No. 12 組合構成以外の自治体までの距離という項目で、「自治体までの距離」というのは、自治体の境界を指しているのか、それとも中心地を指しているのか、このふたつについて、確認したい。
事務局	自治体までの距離というのは、行政界、境界からの距離です。 希少動物の調査については、文献の調査ということであります。
D委員	文献の調査だけではわからないのではないかと。そこに希少植物の植生があるとか、希少動物が生息しているというのは、調査しないとわからないはず。その辺の見解を再度お願いしたい。
事務局	意見として、検討します。
B委員	例えばNo. 9 地下埋設物について、地下埋設物が通過しているが「施工に影響はない」のであれば、5点でも良いのではないかと。 距離が遠いとか近いとかよりも、影響があるのかないのかということに分けるだとか、その辺の考え方というのはどうなのか。
事務局	評価基準と点数はあくまで参考であって決定はしていません。この評価項目をもし三段階に分けるとしたら、こんな分け方も考えられます、というようなことを示したものです。
B委員	それは私もわかるが、今の例だと、やはり支障が無いのだったら5点で良いと思う。例えば水害にしても、河川からの距離に関係なく浸水する所は浸水するわけだから、その辺もひとつ検討していただきたい。
委員長	一点確認させてください。No. 12で「組合構成以外の自治体までの距離が長いことが望ましい。」とありますが、その考え方というのはどういうところにあるのですか。あまりにすぐ隣というのがどうか、というのはわかりますけれども、どれほど影響するのか、

	考え方がよくわからなかったものですから。
事務局	境界近くに施設が建つというのは、収集車両等もそこを通るということになりますので、組合以外の自治体にあまり影響があるのは、ということで外しております。
委員長	<p>それが経済性に影響するとか、運搬収集のルート、コスト或いは管理だとかに影響するのであればそうなのかな、とは思うんですけども。いろんな効率を考えて一番安くあがる所とか、効率の良い所に選定しましょう、そういう考え方は非常に良くわかります。それが偶然どこかの所に近いかもしれないということもあるんじゃないかと思ひまして。それはどっちが良い悪いなんてことになるのかなと。</p> <p>それと前回も言いましたが、景観ですね。「1. 自然環境の保全」のひとつとして、そういう建物が建っても景観的に違和感が無いのかどうか、ということは項目案には載っていないがいかげなものでしょうか。何かで隠すとか、防風林等あると思うんですが。</p>
事務局	そのあたりも、検討の中に入れてたいと思います。
委員長	基本的にこの評価項目は、なるべく人が住んでいる所から遠い所、というふうに見えます。その意味では景観的にもあまり特別な要素が無い所を探しましょう、という精神であると思うので、何かの項目にそういうニュアンスも少し配慮していただきたいな、という感じがします。
C委員	このNo. 1～26の評価というのは事務局が行うのか。
事務局	<p>今後のスケジュールですが、次回、1次2次選定の結果を皆さんに説明させていただきたいと考えております。そして、その選定結果は図面上だけではなかなか状況がわからないと思いますので、その次に現地を見ていただきたいと思っています。</p> <p>そうすると机上の選定項目だけではなく、他の選定項目があっても良いのではないかとご意見もあるのではないかと思います。そういったご意見をまとめていただいて、最終的にこの会議としてのご意見を集約した報告をいただきます。</p> <p>今、委託業務の中でいろいろ調査をしてもらって、文献や資料に基づいた絞り込みを行っていますが、最終的な選定は実際に状況を知っている者がすべきと考えており、選定委員会なるものを設置したいと考えております。その中で皆さんのご意見もいただいた検討項目について、複数の委員の皆さんに評価していただき、最終的に絞り込んでいきたいと今考えているところです。</p>
F委員	先程地震の話があったが、No. 10活断層からの距離に関連して、この近辺の断層の有り様について、次回、専門的な立場からお示ししていただければ。
事務局	わかりました。
E委員	No. 1水源、放流先の状況に関して、基本的には下水に放流するというのが当然だとは思いますが、先程仰っていた液状化とか、土壌からの浸透とか、そういうものを考えると土壌の地質等も非常に重要視されるものかなと思う。なので、水が染みこむことがないのか、そういうことも考えているかどうかもお伺いしたい。
事務局	最も望ましいのは下水道への放流です。また、()の中に「施設下流水路への放流」とありますけれども、これは基準値まで下げて放流します。地面に浸透というのはございません。

<p>委員長</p>	<p>本件につきましてはいろいろご質問・ご意見をいただきました。先程事務局から説明ありましたように、今後1次2次の選定結果を伺って、その場所を実際に見ながら、項目についても再検討しないといけないということです。整理していただいて、次の議論に進ませていただきたいと思います。今日のところはこの資料につきましてご了承いただいたということによろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議題の1は終了させていただきます、2の「その他」になりますが、全体を通してご意見・ご質問・ご要望等ありましたら、挙げていただきたいと思います。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>事務局から何かあればお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>会議の日程ですが、次回第4回の会議につきましては11月18日(水)10時から、由仁町での開催を予定し、内容としましては1次2次選定結果についての説明、評価項目の検討を予定しております。</p> <p>続く第5回につきましては、11月27日(金)13時から、長沼町での開催を予定しており、議題としまして候補地の現地確認、評価項目の検討を予定しております。</p> <p>日程につきましては後日あらためて文書により御案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局から次回次々回について日程の説明がありましたけれども、支障がなければこの日程で開催させていただきます。では次回は11月18日(水)10時から、由仁町で、その次は11月27日(金)13時から、長沼町で開催いたします。</p> <p>皆さん大変お忙しい中ではありますけれども、11月は2回の開催とさせていただきます。それでは本日の予定全て終了いたしました。どうもありがとうございました。</p>
	<p>4 閉会</p>

別紙 出席者名簿

1 焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委員長	吉 田 淳 一	識見
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	沼 田 常 好	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	中 川 勝 美	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	副委員長	麻 生 昌 裕	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	小 池 隆 史	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	三 步 幸 光	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	佐 藤 秀 雄	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	榎 本 義 隆	由仁町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	黒 川 範 子	由仁町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	窪 田 秀 治	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	菊 澤 巧	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	工 藤 公 雄	公募

2 組合事務局等担当職員

所 属	職 名	氏 名	備 考
道央廃棄物処理組合事務局	局 長	平 仁 志	
道央廃棄物処理組合事務局	次 長	井 上 晴 雄	
道央廃棄物処理組合事務局企画課	課 長	高 橋 功	
道央廃棄物処理組合事務局施設課	課 長	武 内 洋 之	
道央廃棄物処理組合事務局企画課企画係	係 長	小 川 大 輔	
道央廃棄物処理組合事務局施設課施設係	係 長	村 中 康 之	
株式会社エイト日本技術開発		長 尾 竜 二	
株式会社エイト日本技術開発		中 山 伸 吾	